

平成 29 年度 秩父地域森林活用等創出支援事業 活動状況報告書

秩父における樹液生産環境の基盤整備 (H25)

秩父樹液生産協同組合

事業の目的・内容

林内での作業効率化のための林内搬送者（クローラ）の導入を行った。

今までの活動状況

カエデ樹液の採取量は年々増加し、平成 28 年度には約 11 トン、平成 29 年度には約 12 トン採取することができた。



これからの活動・行事

作業効率化を図り、採取量を増やしていく。販売先を広げ、「和メープル」ブランドの普及を図る。

